

2003 . 8

白石区民のページ page

白石区インターネットホームページ
<http://www.city.sapporo.jp/shiroishi/>
白石区民公式サイト「shiroishi.org」
<http://www.shiroishi.org/>

「una」。一日二十時間眠り、定住せずに旅を続けるという独特の世界観を持つ人形の名前である。

「子どものころ気に入る人形がなかった」という庄司さんが、この人形を作ろうと決めたのは、平成十三年三月のこと。それ以前に、印刷会社に勤めながら、何かの技術を身に付けようと、コンピューターグラフィックの専門学校に通い始めたのがきっかけとなった。パソコンを使って立体的な人物を描く技術を学ぶうちに「自分の手で人形を作りたい」と思うようになったという。一口に人形を作るといっても、その苦勞は並大抵のものではなかった。デザイン

ンはまとまっていたものの、いざ製造を委託する工場を探してみると門前払いされることが多かった。契約した工場にもうまく指示が伝わらず、試行錯誤の日々が続いた。

約二年の月日を経て完成したunaは、主にインターネット上に開いた店で、今年三月から本格的に販売。日本だけでなく海外からも注文が来ること、また、子どもからお年寄りまで幅広い世代に受け入れられていることに彼女自身驚いているという。「着せ替え人形のように遊んだり、いろいろな背景で写真を撮ったりと、お客さんに自由な発想で楽しんでもらいたい」。そんな彼女のホームページの掲示

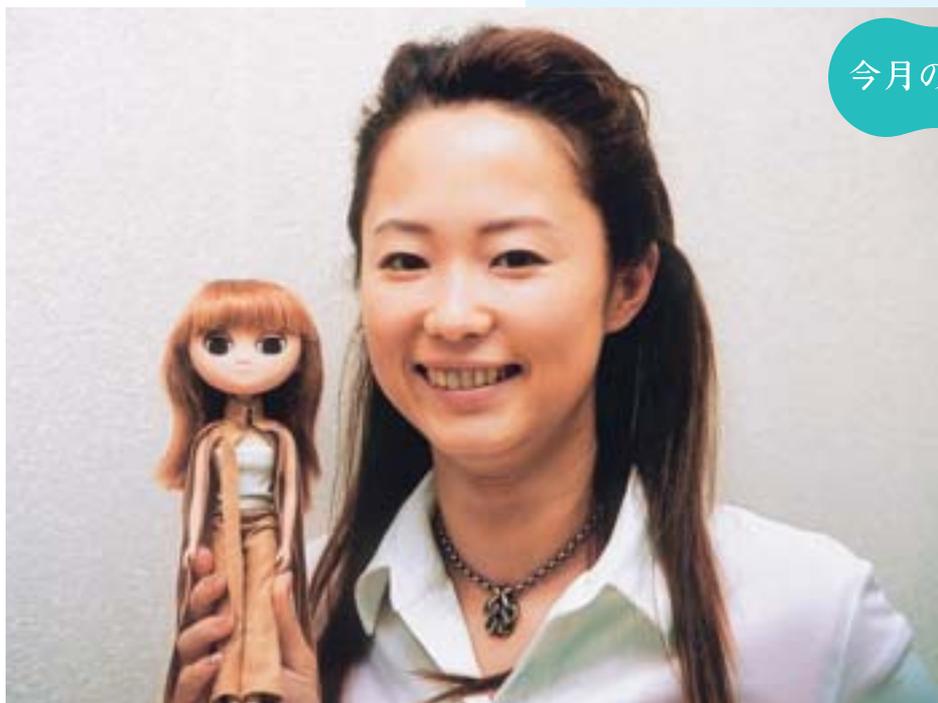
今月の人

人形デザイナー

庄司 幸代さん (三三)

(南郷通在住)

コミュニケーションを大切にしながら、少しずつunaの世界を広めていきたいですね。



■編集 白石区役所総務企画課広聴係
☎003-8612
札幌市白石区本郷通3丁目北1-1
☎861-2400 内線224
FAX860-5236

板には、購入後のunaの様子を写した画像が多数寄せられる。お客が作った服を着て、屋外を散歩したり、食事したり、飼っている犬と一緒に昼寝をしたり。それはまさに今までない独特の世界だ。また、掲示板を通してお客同士が友達になることもある。「unaを通して人と人の輪が広がっていくのがうれしい」と話す彼女は、人形を作っていく中で、何よりもお客とのコミュニケーションを大切にしたいと言いつつ、現在は勤めも辞め、人形作り一筋に夢が膨らむ毎日。「世界中の人でも多くの人に自分の人形を見てほしい」。彼女の挑戦はまだ始まったばかりだ。